

第56回2009年度

広島県社会福祉夏季大学

地域を動かす **力** になろう!

～思いやり，支え合い，分かち合い～

とき

2009(平成21)年
7月15日(水)～16日(木)

ところ

広島市南区民文化センター ホール
〒732-0816 広島市南区比治山本町16-27
TEL(082)251-4120

100年に一度と言われる不況で、全国的に雇用環境が急激に悪化し、多くの失業者がでており、解雇と同時に住まいも失うなど、生活不安は深刻化している。また、中高年齢期の自殺や認知症の増加、子育て世代の孤立から生じる虐待や引きこもり等も新たな社会問題としてクローズアップされている。さらに、単身世帯の増加や次世代を担う子どもの減少も生じ、新たなセーフティネットの仕組みが求められている。

一方、福祉や医療の現場では、マンパワー不足から、質の高いサービス提供の維持や、必要な専門職の確保養成と定着が喫緊の課題であり、安心して暮らし続けるための条件整備が欠かせない。

こうした社会情勢の中、「安全で安心な暮らしを」という誰もの願いを叶えていくために、これらの社会問題や生活課題をひとつずつ解決していく力を私たち一人ひとりがいかに醸成していくかがカギになる。

本講座では、「新たな支え合いづくり」という地域福祉時代を迎え、高齢者や障害者、子育て支援等それぞれ固有の課題や、山積みした地域課題を単に課題として受け止めるだけでなく、お互いがこれらのことを自分たちのこととして理解し、人や地域とのつながりを基調にした、これからの福祉のまちづくりのすすめ方について考える。

参加対象・定員

- (1) 福祉・保健・医療・教育・司法・行政関係者
(各日とも定員500人) (2) 学生および社会福祉に関心のある人

第1日 7月15日(水)

9:45	10:15	10:30	12:00	12:50	14:20	14:30	16:00
受付	開会	講義①	昼食	講義②	休憩	講義③	

講義1

10:30~12:00

『認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために~人が生きる姿から考える~ (仮題)』

株式会社大起エンゼルヘルプ クオリティーマネージャー

東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会 代表 和田 行 男

認知症になったら「人として生きる姿をあきらめさせる時代」から、最期まで「人として生きる姿を支援する時代」へと変わりつつある。そうしたなか、専門職によるプロの支援とは何か、地域住民やその家族はどう関わっていけばよいか考えていく必要がある。ここでは、この転換期を迎え、個と個をつなぐコミュニティとして、お互いに助け合いながら生きることを学ぶ。

講義2

12:50~14:20

『ありたい地域に変えていく~社会起業を通して~』

特定非営利活動法人 フローレンス 代表理事 駒 崎 弘 樹

法律や制度のもとで生活をしているから社会（地域）は変えられないと諦めるのではなく、社会（地域）をよりよくしていくために何ができるか。国や自治体任せにするのではなく、「気づいた個人」が動いていかなければ、様々な生活（社会）問題の解決に結びつかない。ここでは、社会起業という新たな考え方のもとに、暮らしやすい地域に変えていくために一人ひとりができる原動力について学ぶ。

講義3

14:30~16:00

『地域に根ざした医療の姿~前を向いて歩き続けて~』

ちょう外科医院 院長

びんご・生と死を考える会 会長 数 野 博

採算が取れない、あるいは医師不足の理由等により、地元の総合病院が廃止されたり、専門科が休止されたり、地域で暮らす住民にとって必要な医療の機能が失われつつある。また、一方通行的な医師と患者の関係より、地域に根ざし、患者と向き合う生活をみる医療が求められている。ここでは、地域医療を行う立場から、心の痛みのケアやいのちの大切さについて学ぶ。

第2日 7月16日(木)

10:00	10:30	12:00	12:50	14:20	14:30	16:00
受付	講義④	昼食	講義⑤	休憩	講義⑥	閉会

『市民がめざす市民活動』

講義④

10:30~12:00

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

理事・事務局長 早瀬 昇

これからの地域づくりを担う第二の人生を歩むシニア（団塊）世代や、余暇を効果的に使いたい若者が、ちょっとした市民活動を行うことで、地域はより暮らしやすく生まれ変わることができる。ここでは、生活の拠点となる地域の特性や課題を把握し、その地域ならではの新たな取り組み（ボランティア・市民活動）について学ぶ。

『現代社会と子どもたちの悩み～ネットワーク活用型支援の実際～』

講義⑤

12:50~14:20

九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 田 島 誠 一

心の悩みを誰かに打ち明けることもできず、独りで模索・葛藤しながら懸命に生活している子どもたちが増えている。そこで、学校・子ども・家庭・関係機関のネットワークをつなぐ役割を担うスクールソーシャルワーカーの必要性が論じられ、本県でも一部の市で配置されている。ここでは、関係者とのネットワークを活用した子どもたちへの支援のあり方について学ぶ。

『社会福祉の行方と住民主体の地域福祉』

講義⑥

14:30~16:00

ルーテル学院大学 学長 市 川 一 宏

介護保険制度における介護報酬が改定され、障害者自立支援においても利用料負担の見直し等が検討される等、公的なサービスの利用だけでは自分らしい暮らしを続けていくことが難しくなっている。ここでは、これからの福祉関係制度政策を理解し、地域住民が地域なりの自分なりの地域福祉活動のすすめとその展開について学ぶ。

参加費

(1) 参加費(税込)

	前 納		当 日	
2日間とも参加の場合	1人	5,000円(学生 3,000円)	1人	5,500円(学生 3,500円)
1日のみ参加の場合	1人	2,500円(学生 1,500円)	1人	3,000円(学生 2,000円)

※学生とは、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、特別支援学校、専修学校の学生で、社会人を除く

参加申込

(1) 申込方法

1 インターネット

県社協ホームページ <http://www.hiroshima-fukushiaet> の「福祉の仕事・研修」内の専用申込フォームから申し込むこと

郵送またはFAX

参加申込書に必要事項を記入し、事務局まで申し込むこと

- 申込締切日までに参加費を次の口座に郵便振り込みをされると、入金確認後に受講通知を送付するので、当日必ず持参すること。領収書は、振込用紙をもってこれに代える。なお、本会発行の領収書が必要な場合は、その旨申込書に明記すること
- 講座の前日までに受講通知が届かない場合は事務局に照会すること
- 申込締切日までに参加費の振込みがない場合は、参加申込みがあっても当日扱いとなるので留意すること

(2) 申込及び参加費振込締切日

2009(平成21)年7月3日(金)

郵便振込口座番号

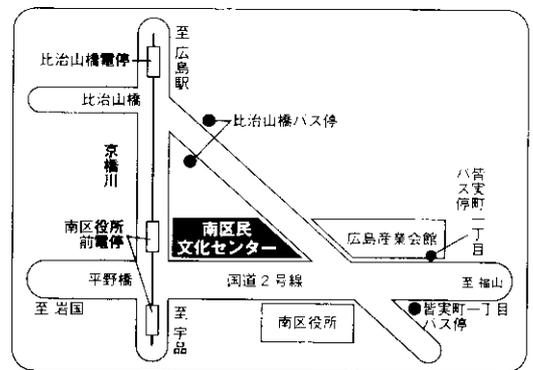
01320-6-17224

名 義

(社福) 広島県社会福祉協議会

その他

- 当日はOHP(要約筆記)および手話通訳を用意しているのですが、利用者は参加申込書備考欄に明記すること
- 当日、業者が弁当を販売するので、弁当代金は事前振り込みをしないで当日現金払いすること。なお、概数把握の必要があるため申込用紙に希望を記入すること(1食650円)
- 宿泊等については各自で確保すること
- 参加費の払戻しはしないので留意すること
- 参加申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のみに使用し、講座終了後は本会でシュレッダー処理を行う



■JR広島駅から
路面電車(5番)比治山下経由広島港(宇品)行(約10分)「南区役所前」下車

■紙屋町・八丁堀から
バス(23番)大学病院行(約12分)「皆実町一丁目」下車
※バス(23-1)比治山トンネル経由 大学病院行は経由先が違うため注意すること

事務局

広島県社会福祉協議会福祉部 地域福祉課(社会福祉夏季大学係)

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2

TEL 082-254-3414(直) FAX 082-256-2228

切 り 取 り

第56回 広島県社会福祉夏季大学 参加申込書

名 前	住 所	電話・FAX	参加日	昼食希望	備 考
ふりがな	〒 -	TEL - - FAX - -	15日 16日	15日 16日	
ふりがな	〒 -	TEL - - FAX - -	15日 16日	15日 16日	
ふりがな	〒 -	TEL - - FAX - -	15日 16日	15日 16日	

※参加日、昼食希望は○をすること。整理の都合上、振込日・金額・振込人名義を記入すること

合計 円を 月 日に
名義 で振込み ます・ました